



楽しい三日間、すばらしい思い出と絆ができました

1月10日から12日までの3日間、七浦小との交流会が行われました。初めはお互いに緊張気味の子どもたちでしたが、昨日のお別れの時には、手をふったり、言葉を交わし合ったりとまるで数年来の友だちのように親しくなっていました。

子どもたちがこのように楽しく充実した三日間を過ごすことができたのも、保護者の皆さんや町当局の皆様のおかげです。休みを返上してのご協力をありがとうございました。

今度はわたしたちが千倉を訪問する番です。海辺の子どもたちの生活や飯豊ではできないことを体験し、絆をさらに深め、たくさんの思い出を持ち帰ることができるように、これから準備を進めていきます。何といたっても体調管理を行って元気で訪問できるようにするのが一番の準備です。インフルエンザへの対策も引き続き行っていきますので、おうちの方々の呼びかけもよろしくお願いします。



田んぼの先生ありがとうございました

1日目の餅つき体験でついた餅米は、子どもたちが学校田で田んぼの先生に教えて頂きながら作ったものでした。当日は田んぼの先生にも来て頂き、餅つきにも協力をいただき、一緒に餅をたべていただきました。

自分たちが作った米と餅は、格別おいしく、用意した餅があっという間になくなり、おうちの方々の分が足りないほどでした。

田んぼの先生には、春から今まで、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



小学校のころの交流相手と再会

この3日間でいろいろなドラマがありましたが、保護者の方で感動的な再会をなさった方がいました。今回の訪問団の保護者の方と、5年の保護者の方が、小学校の時交流していたことがわかり、二十数年ぶりの再会を果たしたのです。二人は小学校の頃の思い出に花を咲かせたそうです。

昨日のPTA会長さんの話のように千倉の子どもたちが飯豊に、飯豊の子どもたちが千倉に住むということがあるかもしれませんし、数十年後お互いの子どもたちが交流を行い、再会を果たすということがあるかもしれません。39回も交流を続けてきたおかげで、人と人、家族と家族、町と町の絆が強くてきあがってきていることを感じた一場面でした。

